一般部門
3

「増毛山道」の復元と保存による地域活性化

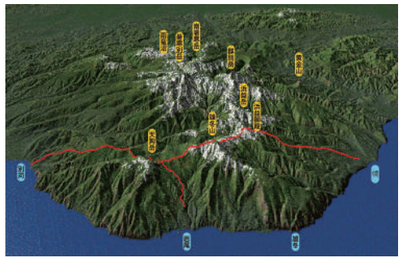
北海道増毛町
特定非営利活動法人　増毛山道の会

① 社会資本の概要

増毛山道は、増毛町別苅と石狩市幌を結ぶ約38km の道です。この山道は、江戸時代末期にロシアの南下政策に備え、増毛の場所請負人であった伊達林右衛門が松前藩の命を受け、自費で開削し完成させたものです。その後、山道は地域の重要な交易道路として利用され、駅逓も設置されていましたが、海岸線の道路や海上交通の整備により、次第に利用されなくなり、昭和 43 年には地図からも消えてしまいました。

幕末の蝦夷地に開削された多くの道は、人の往来が絶え、深い笹や樹林に埋もれた道が多い中で、現代に復元された増毛山道は、近世の貴重な歴史遺産です。

復元された増毛山道



増毛町岩老上空からの鳥瞰図

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

増毛山道の会が中心となり、平地を除く山道32km の復元、笹刈りや看板設置等の維持管理とともに、山中の安全確保のため周囲の林道と保全提携し、緊急時の対応をしています。

また、貴重な歴史遺産を後世に遺すために山道に存在する遺構（電信柱、1 等水準点、石積橋台等）の保存活動を行っています。

さらに、増毛山道を幅広く周知し利活用を推進するため、当会の会員がガイドする体験トレッキング、地元の中学生を対象とした歴史や地理の出前授業と山道での体験学習を実施しています。一般向けの体験トレッキングツアーは、参加者が地元食材を使った食事や果樹園、酒蔵等も満喫できるよう工夫を凝らし、地域を巻き込んだ活動としています。

そのほか、パネル展やシンポジウムの開催、ガイドマップやホームページでの情報提供により、増毛山道の魅力を広く PR しています。

維持管理のための笹苅作業

明治 40 年に埋設された 1 等水準点

中学生が山道の歴史や地理を学ぶ出前授業

③ 活動の成果や波及効果等

全線復元後は、札幌方面からの体験トレッキング参加者が増え、増毛町内に宿泊する参加者も増加しています。その結果として増毛町へもたらす経済波及効果も大いに認められています。

参加者アンケート結果では、増毛山道の希少性や歴史的価値を高く評価する者が７割を超え、参加者の４割がリピーターです。

また、活動を通じて収集した GPS データを基に、一度は抹消された増毛山道ルートが国土地理院の管理する電子地図へ掲載されました。

ガイドによる電信柱の説明風景

体験トレッキングで丸木橋を渡る参加者

●●● 喜びの声 ●●●

受賞者

特定非営利活動法人　増毛山道の会
会長　渡邊 千秋

コメント

郷土 (ふるさと) に眠っている歴史遺産「増毛山道」があることを知った時のわななきを仲間と共有し、復元着手に至るまでは、あっという間の出来事でした。

あれから 10 余年で増毛山道をよみがえらせ、多くの人達に歩いてもらい、北海道命名 150 年の年にこの賞を頂いたことは、今後の活動に大きな励みになるところです。

増毛町と石狩市にまたがるこの道を、友好の懸け橋として、観光や地域振興に役だてて参りたいと考えております。

活動の内容

増毛山道の復元、広報、トレッキング、維持管理、林道利用活動　など

活動の経緯

平成 22 年　NPO 法人設立
平成 28 年　増毛山道全線復元
平成 29 年　北海道文化財保護功労者表彰受賞
平成 30 年　「測量の日」功労者表彰受賞
　　北海道遺産選定
　　北海道地域文化選奨特別賞選定

所在地

北海道増毛町別苅～石狩市浜益区幌

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人　増毛山道の会
（0164-56-0003　小杉測量設計（株）気付）

対象となる社会資本

増毛山道、町道ポンナイ津田屋道路線
※管理者：北海道、増毛町